

令和6年度 学校評価報告書

蒲
南



校訓『自主創造』

蒲郡南部小学校

令和7年2月

令和6年度 蒲郡南部小学校 学校評価アンケート結果のお知らせ

令和7年2月

令和6年度の学校評価アンケートの結果をお知らせします。この結果をもとに、来年度の教育活動を充実していきます。ご協力ありがとうございました。

【グラフの見方】 ◎ よくあてはまる

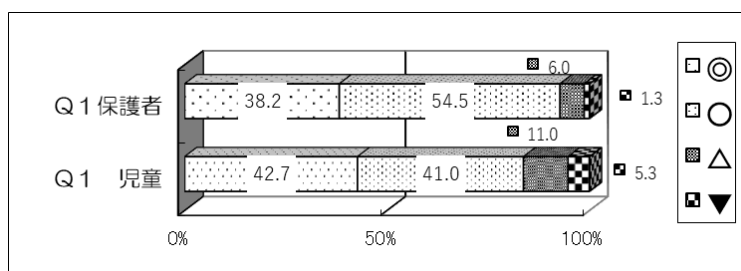
○ だいたいあてはまる

△ あまりあてはまらない

▼ まったくあてはまらない

Q1（保護者） お子さんは、楽しく学校に通っている

Q1（児童） 学校に行くのが楽しい

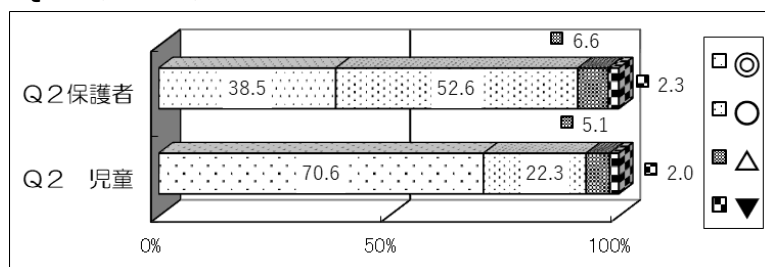


子どもたちが安心して楽しく学校生活を送れることは、最も大切なことです。◎と○の合計が、保護者 92.7%、児童 83.7%と、ともに高い数値になっています。しかし、△と▼と答えている子どもたちが16%ほどいることを重く受け止め、教育相談の充実を図り、悩みの相談・対応等きめ細かな指導を心がけ、全ての子どもたちが「学

校は楽しい」と思えるように、活動を工夫していきたいと思います。そして、子どもたちの思いに寄り添い、全ての子どもたちが、安心して楽しく生活できる学校をめざしていきたいです。

Q2（保護者） お子さんは、学校で友達となかよく過ごしている。（お子さんとの会話より）

Q2（児童） いろいろなことを話したり、遊んだり、相談したりできる友達がいる



子どもたちは、友達と一緒に遊んだり、話したりする中でより良い人間関係づくりを学びます。また、落ち込んだり悩んだりした時に、相談できる友達がいることは、大きな心の支えとなります。子どもたちの健やかな成長のために友達はなくてはならない存在と言えます。◎と○の合計が、保護者

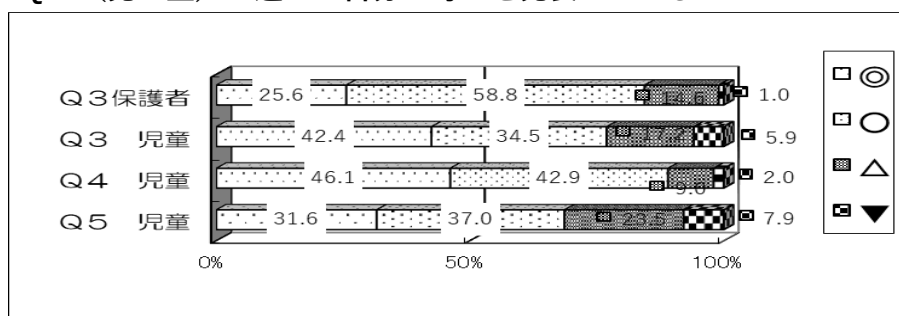
91.1%、児童 92.9%という結果となりました。長いコロナ禍が明けて、子ども同士のかかわりは昨年よりさらに増えてきましたが、子どもたちの様子を見てみると、友達とどう接したらよいのか難しく感じている子もいるように見受けられます。△と▼と答えている保護者が 8.9 ポイント、児童が 7.1 ポイントといることに注視し、より一層子どもたちが豊かな人間関係を築けるよう、かかわり合いを大切にしたさまざまな取り組み（協働的な学びの授業、縦割り児童会活動、仲間と協力してつくりあげる行事等）を充実させていきたいと考えます。

Q3（保護者） お子さんは、あいさつがしっかりできている

Q3（児童） 自分から元気な声であいさつをしている

Q4（児童） 先生や友達の話を中心して聞いている

Q5（児童） 進んで自分の考えを発表している



あいさつについては、◎と○の合計が、Q3 保護者は 84.4%、Q3 児童は 76.9%となりました。

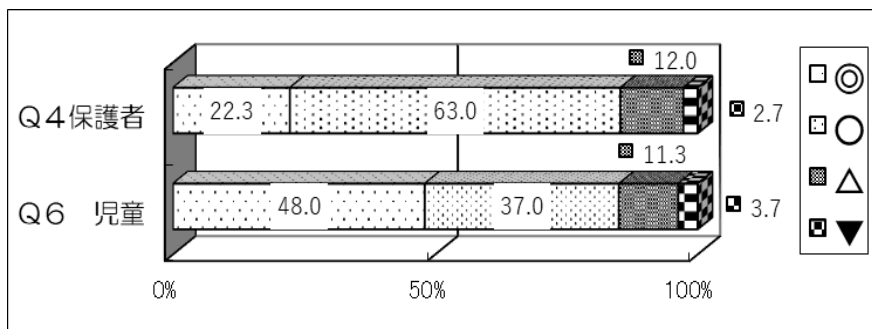
「あはは運動」であいさつの大切さについて学級で考えたり、児童会が企画し交通少年団やボランティア委員会も一緒に行った「ゼロの日あいさつ運

動」や蒲中学区一斉のあいさつ運動を行ったりしました。多くの子どもたちが笑顔であいさつをし、自

分から進んであいさつする子も増えてきました。今後も、子どもたちがあいさつの大切さを理解し、進んであいさつできるように全校体制で取り組んでいきます。また、Q 4 児童の◎と○の合計については、89%の子どもたちがあてはまると回答しています。これは、昨年度より 2%ほど下がりました。「話す相手に目・耳・心を向けよう」と静かになるまで待つことや授業展開に工夫を行うよう今後も一層努めていきます。そして、あいさつ、返事、話を聞くこと等、基本的な生活習慣づくりに向けて、学校・家庭・地域と連携を図りながら取り組んでいきたいと思ひます。Q 5 児童は、◎と○の合計は、68.6%と少しではありますが昨年度より上がりました。話し合い活動の中で互いの考えを認め合う活動を大切にすることで、考えを発表しやすい雰囲気づくりに努めていきたいと思ひます。

Q 4（保護者） お子さんは、各教科の基礎・基本的な学力を身につけている

Q 6（児 童） 授業の内容がよくわかり、楽しく学習している

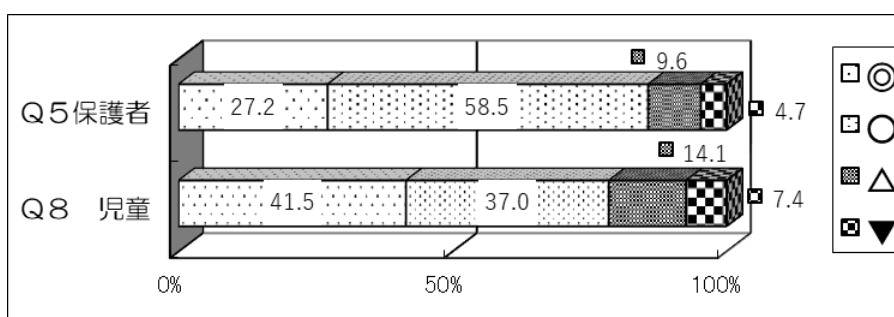


◎と○の合計がQ 4 保護者は 85.3%、Q 6 児童については 85% となりました。授業づくりにおいて、子どもたちが意欲をもって楽しく学習し、各教科の基礎・基本的な内容を理解できるよう努めてきました。今後も、基礎基本的な学力が身につくよう、子どもた

ちにとってわかりやすい授業になるよう、そして、自ら学ぼうとする力、粘り強く考える力を伸ばせるよう、職員一同努力してまいります。併せて家庭学習の習慣づくりにもご協力をお願いします。

Q 5（保護者） 先生は、子どもをよく理解し、子どもが相談できる存在となっている

Q 8（児 童） 困ったことがあったら、先生に相談している

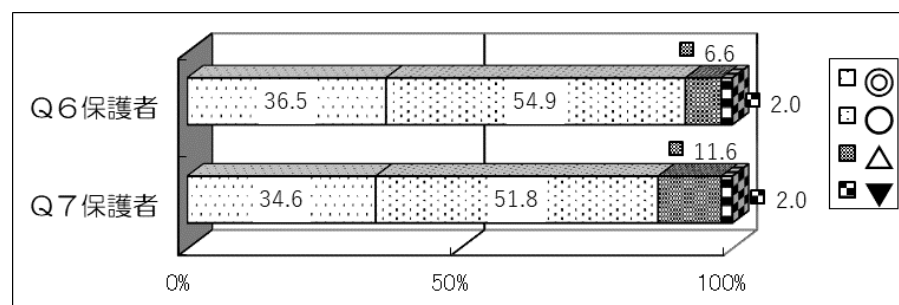


◎と○の合計がQ 5 保護者については 85.7%、Q 8 児童は 78.5%でした。子どもたちの様子をよく見ていくとともに、子どもたちの思いに寄り添い、困ったことを相談しやすい雰囲気づくりに努めてまいります。また、定期的に教育相談の時間を設け、一人一人と話をする時間

を大切にしていきます。そして、親と子で話をしようWEEKを設定するなど学校と家庭が連携していくことで、子どもが感じている不安や困りごとをいち早くとらえていけるようにしていきます。

Q 6（保護者） 先生は、分かりやすくていねいに教えてくれる

Q 7（保護者） 学級・学年の様子を通信や懇談会等でよく知ることができる

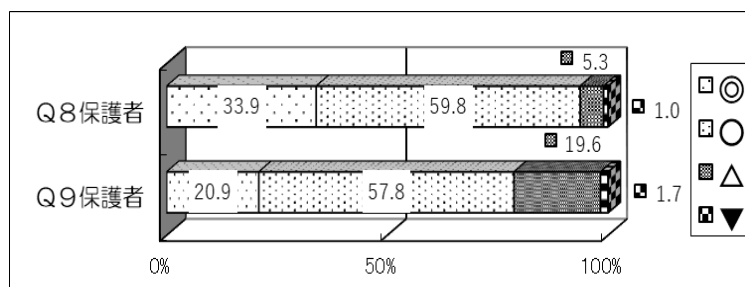


◎と○の合計がQ 6 保護者は 91.4%で 9 割以上という高い評価をいただきました。今後も分かりやすく丁寧な学習指導の在り方・進め方を、職員全体で話し合い、研修に努め、実践していきます。Q 7 保護者は、86.4%となりました。今後も学年通信や校長だより「つなぐ」

等を工夫し、学校生活の様子が保護者の皆様にしっかりと伝わるようにしていきます。併せて、ご家庭でも学校での出来事を話題にいただけると幸いです。

Q 8（保護者） 学校は、子どもの安心・安全、そして、健康的な生活づくりに努めている

Q 9（保護者） 学校の設備等は、安全で充実したものになっている

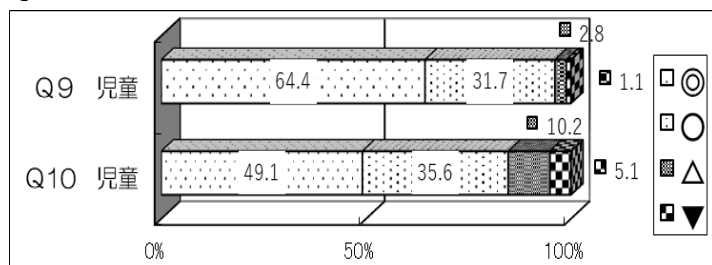


Q 8 保護者の◎と○の合計は 93.7%でした。避難訓練や安全教室(薬物乱用防止、自転車利用、SNS 関係、蒲南セミナー等)、かけ足訓練等、今年度も、ご家庭のご協力とご理解をいただきながら子どもたちの健康教育、安全教育を進めてくることができました。今後も、子どもたちの安心・安全、

そして、健康的な生活づくりに努めていきます。Q 9 保護者の◎と○の合計は 78.7%と他の項目と比べてやや低い数値となっています。「保護者のご意見・ご要望」でも「遊具をもう少し充実させてほしい」とのご意見をいただきました。今後も引き続き市に要望をしていきますが、今年度はPTA会計からも遊具設置のための積み立てをしていくことも考えています。

Q 9（児 童） 友達にやさしくしようとしている

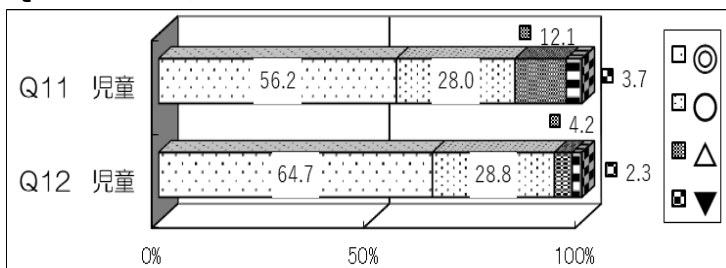
Q10（児 童） 自分にはよいところがある



◎と○の合計がQ 9 児童は 96.1%でした。Q10 児童は◎と○の合計が 84.7%で、8 割以上の子が自分のよさに気づいていることが分かります。今後も互いを思いやり、尊重し合う学級経営を大切にすることで、周りの人にやさしくできる子、そして、自他のよさを認め合える子を増やしていきたいと思います。

Q11（児 童） 学校からもらったお手紙を忘れずに家族に見せている

Q12（児 童） 掃除や係の仕事を一生懸命やっている



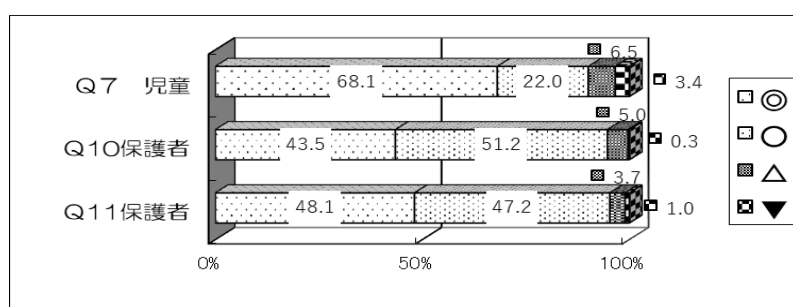
Q11 児童の◎と○の合計が、84.2%でした。全体としては、多くの子どもたちは通信やお知らせを家族によく見せていることが分かります。10 月より通信等はコドモンで配信できるようになりました。今後も、学年通信や校長室だより「つなぐ」等を活用して、学校での出来事を家族で語り合う

一助としていただけると幸いです。Q12 児童については、◎と○の合計が、93.5%でした。昨年度(88.5%)より数値が増加しました。子どもたちは集中して掃除に取り組んでいます。係の仕事に対しても責任をもって行う子が多くいます。今後も清掃活動や、係活動、委員会活動等を通して、何事にも、一生懸命取り組める子どもたちを育てていきたいと考えます。

Q 7（児 童） 地域の方との勉強や活動は楽しい

Q10（保護者） 学校は、地域に開かれた学校づくり（授業の公開、行事への招待、地域行事への参加）に取り組んでいる

Q11（保護者） 学校と地域で「まちぐるみで子どもたちを育てていく」ことが大切であると思う。



◎と○の合計はQ 7 児童が90.1%、Q10保護者が94.7%、Q11保護者が95.3%と高い数値を示しています。昨年度より蒲郡中学校区に学校運営協議会が設置されコミュニティスクールとなりました。地域学校協働活動の取り

組みも4年目となりました。今年度も多くの地域の方々がサポーターとして、授業づくり、子どもたちの見守り、環境整備などでご協力くださいました。また、「クラブ活動（4～6年生）」では、今年度も地域の方々が「先生」となって教えてくださり、楽しく充実した活動となりました。今後も保護者の皆様、地域とともに、子どもたちの成長を育んでいけるよう開かれた学校づくりに取り組んでいきたいと思っています。

子どもたちの健やかな成長を願い、学校と家庭と地域がつながって、いっしょに考えていきたいと思っています。お気づきのことがありましたら、お気軽にご連絡ください。よろしくお願いいたします。

＜蒲郡南部小学校をよりよくするためのご意見＞

※「よりよくするためのご意見」を要約したものを以下に載せます。

※個人が特定されるようなものは除いてあります。

【健康・安全・環境】

- ・子供が遊べる遊具をもう少し充実してさせてほしい。
- ・遊具が年々、撤去されてしまっていて、とても残念です。子供が校庭でも活発に遊べるよう、遊具等の設置をお願いしたいです。
- ・みんなで遊べる遊具、一輪車や竹馬があったら楽しそう。

【学習】

- ・クラブ活動を増やして欲しい。有料でもいい。
- ・教科担任制にするなど、専門知識を持った先生から指導してもらえるといいと思う。また、苦手な科目は取り出し授業など補習してもらえるようになるとうい。放課後に地域連携協働活動でボランティアの学生や教員経験者に教えてもらうのもいい。
- ・社会が苦手家で勉強を見てほしいと子供に言われるが、教科書が学校にあるが家庭学習をする事が難しい。簡単に持ち帰りができるようにしてほしい。
- ・タブレットの持ち帰りがあり、土日や長期休みに自宅で興味をもち、タブレット学習を自分からしてくれるので、毎週持ち帰りにしてもらえるとプラスになりいいです。
- ・漢字の学習は、はねるつもりがなくてもタブレットで書くとはねている扱いになってしまい、バツになること等があり、タブレット学習には向いていないと感じます。
- ・AIのテスト採点で、平仮名が間違っているのに正解になっていることがあったので、先生もちゃんと確認してほしい。

【生活】

- ・なかよし登校になり、行きや帰りに通学路を外れる子、通学団の子に迷惑をかけられることがほぼなくなった。来年度も続けて欲しい。木曜日の一斉下校も先生が付き添うとしっかり帰れるが、子供だけだと、言うことを聞けない子が多いのでなしにしてほしい。バラバラに下校した方が対向者に迷惑がかからず、広がらないから安全だと感じる。
- ・なかよし登校だと、1人で学校行く子も出てきてしまうので、ある程度の人数で集まって行った方がいい。（事件になってからだと遅い）
- ・今年度よりなかよし登校になったが、欠点ばかり。ふざけたり、走ったり、全く安全に通えない。昨年までの登校班なら、上級生からは安全に登校することを学べ、下級生にはペースを合わせる優しさを学べ、すごく良かった。
- ・なかよし登校になりましたが、朝の登校時間の居場所がなく感じるようで登校を渋るようになりました。毎朝保護者と登校している子もよく見ます。自転車ですら途中で通学している子も見ます。通学班での登校をなぜやめたのか、これからは仲良し登校が続くのか、もう一度説明していただけるとありがたいです。

- ・登校について。現在『なかよし登校』だが、家の近所に同級生など親しい子がいない場合もあると思う。また、仲良し同士だけだと話に夢中だったりじゃれあったりして道路にはみ出して危ないことがある。班登校の方が一人になりにくいし、交通安全の面でも危なくないと思う。
- ・あいさつをしない子が多いと聞いています。同級生同士、気軽にあいさつができるような雰囲気を作れるとよい。
- ・学用品が遊びやオモチャの要素を含むものを持参する子が何人もいるようで、買って欲しいとぐずったり怒る。必要ないものや遊びの要素を含むものを親が判断し持たせないようにして欲しい。

【行事】

- ・今年の運動会は、競遊種目が増えて去年より盛り上がったように思うが、もう少し競技があるとよいと思う。具体的には通学団や縦割りでの選手選抜リレーやPTA種目(父母や先生も参加)など。
- ・いつも子どもたちに向き合っていただきありがとうございます。最後の運動会、競技も増え、組体操も経験させてもらい、見応えがありました。子どもたちの成長を感じました。
- ・今年の運動会、どの学年も見応えがありました。特に6年生の表現は本当に素晴らしかったです！！感動しました。あと少しの6年生、子どもたちにとってより充実した時間になることを願っています。蒲南の先生方はどの先生も良い方ばかりで卒業するのが寂しいです。本当にお世話になりました。ありがとうございました。
- ・今年の運動会は、学年を超えた縦割りの子ども同志の仲間意識を、すごく感じました。その為、他学年の競技中も、同じチームの仲間を一生懸命応援している子どもたちの姿に、大変心を打たれました。お導き下さった先生方に感謝しています。どうか来年も、今年以上に、さらに充実したたくさんの行事を、子どもたちと共に経験&体験させて下さい。お願いします。
- ・運動会のリレーで4チームの学年の時に、1位と4位、2位と3位に分かれ、後者を勝ちとしていたのがスッパリしませんでした。普通は1位を取った方が勝ちに思えます。
- ・GW中の遠足や、県民の日ホリデー前後の行事、三連休前の授業参観など、働く保護者としては、もう少し日程を考えてほしいです。行事ではなければラーションを使いやすい日であったり、連休前、県民の日ホリデーと続き、休みを取りづらい日だったりします。
- ・運動会は平日ではなく、土曜日や日曜日にしてもらえると、普段は学校の様子がわからない祖父母などにも、子供の様子や成長を見てもらえるのでいいなと思います。
- ・運動会は土曜開催の方がよい。弁当は負担もあるので、午前中のみでもよい。
- ・運動会後に給食を食べて授業を受けて下校なのは何故でしょうか。運動会で疲れてるのに授業に集中できるのか謎です。運動会後は子供達も帰りたいはずです。
- ・行事の写真等の販売をして欲しい。先生達が大変なら業者のでも保護者が対応でも。行事等近くで見られない分せめて写真で姿が見たいです。
- ・表現の会は再開されず、学習発表会で今後も続いてしまうのですか？学習発表会では物足りなさを感じてしまいます。今一度検討いただくと子供達も喜ぶと思います。
- ・授業参観は、一人の子どもにつき1時間までで、一日中どの授業でも観に来て良いなどしてもらえたら兄弟が多い家庭の場合一人一人、ゆっくり観てあげられて、子どもたちも嬉しいと思います。
- ・授業参観が同じ日時の場合、どの時間帯に何をやるのか分かれると見に行くタイミングが考えやすくなりありがたいので検討をお願いします。
- ・授業参観の間隔を均等にしてほしい。学年始まりに2ヶ月連続は変化を感じずあまり意味があるように思えない。冬にも一度やってほしい。
- ・運動会、持久走、子どもたちのがんばる姿が見られてよかったですが、子どもたちの話を聞くと、当日までに1回しかコースを走っていない、リレーの練習をしていない等お忙しいとは思いますが、も

もう少し過程を大事にするなど、積み重ねの経験も必要ではないかなと感じました。

- ・持久走プレーダー参観させていただきました。1年生の女の子、二人マスクをつけて走っており、とても苦しそうに見えました。マスクをして走り、こどもが亡くなった事例もあります。まず第一に命を守る判断を現場でしっかりしてほしいと強く思いました。

【地域活動】

- ・兄も在学させてもらっていますが、年を重ねるごとに地域との連携がどんどん密になってきているように感じます。 色々なイベントにも参加させていただき子どもは学校を楽しんでおります。 私自身も子どもの様子を見る機会が得られてありがたく思っております。
- ・今年は、地域産業の勉強に民間会社の社長さんのお話を聞く機会や、実物に触れてる機会が多くあり、子ども自身が蒲郡産の〇〇だ！と、地元に親しみをより持つことにつながり良かったです。 また、家族や先生以外の大人と子どもから話すきっかけにもなり、地域の一員として子どもが過ごせるようになると嬉しいです。

【その他】

- ・お世話になっております。 いつも息子の話に耳を傾け励ましていただきありがとうございます。 おともだち、先生大好きで学校楽しく通えています。
- ・担任の先生がよく一緒に遊んでくれると、子どもたちが楽しそうに話してくれます。いつもありがとうございます。
- ・先生はよく子供のことを理解してくださり、ありがたいです。
- ・担任は子供を理解しようとしてくれている。子供たちを信頼し自主性を育てようとしてくれているのがわかる。 楽しい行事があると、子供達も団結しそう。
- ・先生のお誕生日会を企画するなど、生徒たちの自主性が尊重されていて、とても素敵だと思う。
- ・子供がその子なりに頑張れるように声をかけてくれたり、寄り添ってくれている。担任だけでなく、教科でかわる先生みんなで対応してくれている。とても有り難いです。
- ・授業参観での保護者の私語が気になります。子ども達は集中して授業をしているのにどうかなと思いました。
- ・一部の保護者が出過ぎてる感じがします。学年のカラーかも知れませんが。もう少し学校が主導してもいいかと思います。
- ・習い事で良い成績を納めた際には、全校集会などでも表彰して欲しい。
- ・長期休暇の宿題が、他の市と比較して多い印象があります。作文や読書感想文、ポスターなど希望者のみでも良いのではないのでしょうか。
- ・あんしん教室の案内を、もう少し早くいただけるとよかった。勤務の都合で参加出来ず、残念だったので。
- ・携帯電話を持つリスクを早い段階から家庭と学校が協力して団結して教えていく事が必要だと思います。
- ・子供達のスマホの使い方(特に、友達同士でのLINEのやりとり)が心配です。スマホを持っている子も多く、グループでLINEのやり取りもしていると聞きます。学校としてもスマホの使い方、SNSやLINEのマナーなど、親も含めた学びの場を作っていただけると良いと思います。
- ・お便りなどが電子化されて助かっています。欲を言えば時間割なども電子化されたらいいと思います。もちろん子供自身書くこともだいじですが、親が確認やフォローしたい場合。
- ・トラブル・いじめ等の問題が起こった場合 両方の保護者に連絡してほしい。被害者側から加害者側の保護者に言っても学校から何も聞いてないから知らないと言われる事が多いです。
- ・6年は春の遠足がないことを子どもから聞きましたが、親向けにきちんと連絡してほしいです。

当日朝のメールも「1〜5年の保護者へ」とは書いてなく6年にも来たので、本当に弁当はいらないのか心配になりました。

- ・デジタル採点支援システムでのテスト採点は、プリントが1枚多くなって返ってくるのでエコではないのではと思いました。
- ・学級通信が昨年度に比べて少なく感じます。もう少し発行回数を増やしていただけると学級の事が知れて子どもとの会話のきっかけにもなるのでありがたいなと思いました。
- ・学級通信や、学年通信は担任の先生によって発行されるタイミングが異なると思いますが、差があり過ぎる気がします。授業参観が頻繁にある訳ではないので学校での様子が子供から聞くだけではわからないので、学校からの発信はもっと増やしてほしいです。
- ・いつもありがとうございます。そうふ、学級通信、保健だよりなど（ありがたいですが）お便りが多く、学校の先生の負担が心配です。先生方の負担が少しでも少なくなりますように。
- ・いつも大変お世話になっています。放課後、低学年でもコンビニや近くのお店で、子どもだけで買い食いしている子がいると聞きます。今一度、学校からご指導いただけると、親子、学校と共通認識できると思います。お手数ですがよろしくお願いします。
- ・学校からの着信があっても出られなかった時は折り返すようにしてありますが、18時ギリギリに電話をいただき、すぐかけ直してもすでに留守電になっていてつながらず、その後学校からの連絡もなく、何の連絡だったのかとモヤモヤする事があった。忙しいとは思いますが、もう少し早目の時間にかけていただけたら、と思います。
- ・連絡帳ではなく、コドモンで連絡事項も言えるとありがたいです。連絡帳に書くのを忘れて、出先で伝えたい時に便利だなとおもうので。
- ・休みの連絡がアプリになり、連絡しやすくなったように感じます。
- ・学年通信をコドモンに掲載するのを、全ての学年で共通にして実施してもらいたい。高学年になっても、親に必ず見てもらいたい内容であれば、コドモンに掲載すべきではないでしょうか？
- ・中学校はコドモンにスケジュールが記入されているが、小学校は何も記入されていないので、予定を入れてくれると使いやすいと思う。
- ・お知らせがデジタルになったことは、とても良かったと思います。ただ行事予定だけは、変わらずプリントでいただけた方が見落としが減り助かるような気がします。
- ・PTA役員になったら、来年のPTAは選ばれない、とか当たらないようにするとかそういうこともお願いしたいです。みんな仕事で忙しいとは思っているので、そこも平等にしてほしいです。
- ・PTA役員の選出に疑問を感じています。それぞれのご家庭の事情やどんな方も知らないのに、無責任に投票してよいのかと思いました。
- ・資源回収の段ボールや空き缶が散乱している。道路を歩いていたら強風の時に段ボールが道路にまで飛んできて車や通行人に当たっていたのを見た。危ないし散らかっているので飛ばないように対処してほしいです。
- ・朝の登校時間、先生の働き方改革で8時に変更になったかと思いますが、親はすごく働きにくいです。中には朝早くから学校でドアが開くのを待ってるお子さんもいるようです。せめて寒さや暑さがしのげる待機場所を検討願えませんか？
- ・研究授業や先生方の用事もあるかとおもいますが、午前中授業でなくてもよいのでは？と思う日が何日もありました。
- ・1クラスの人数が多いため、低学年の担任の先生は特に大変かと思います。低学年の支援員の先生がいてくれたことは非常に助かりました。1年生はクラス開放をして親の目を届かせることも必要かと思っています。1年生の活発なクラスに親の目は必要ということは強く感じました。

- ・連絡帳で相談しても、それに対する返事がなく、何もしてくれなかった。病気で学校を休んでも授業内容や宿題を教えてくれなかったり、病気に対して無関心だった。もっと生徒に親身になってほしい。
- ・前期学級代表の子が、また後期書記となり、いつも同じ子のみがクラスの代表メンバーとなるのは、他の子に成長のチャンスがなくなってしまうような気がするので、少し見直してほしいです。(応援団長と学級代表のかけもちがOKなど)

【まとめと今後の方針】

蒲郡南部小学校のために多くのご意見をいただきありがとうございました。1年間、蒲南小の子どもたちの「生きる力」を育もうと全職員、力を合わせて努めてまいりました。4月から、子どもたちの成長を様々な場面で実感することができました。ただ、至らぬ点や気づかぬこともあり、ご心配をおかけしています。学校は「自ら学びきたえる場である」という考えのもと、いただいたご意見を全職員で共有して、今後の教育活動にいかしていきたいと思います。そのためにも、地域、保護者の方々のご協力が欠かせません。どうぞよろしくお願いいたします。

本校の教育目標「自律・尊重・創造」する子の育成に向けて、来年度は以下のように取り組んでいきます。

★ 自分づくり「自律…自分で考え、判断し、行動できる子」

基本的な生活習慣の確立に向けて、各学級、児童会、委員会などで様々な取り組みをしてきました。また「あはは（あいさつ・返事・はきものそろえ）運動」に取り組み、子どもたちの「あはは」に対する意識も向上してきました。ご家庭でのご協力もあり、この1年間で子どもたちはできることが増えました。

授業においては、子どもたちの思いや考えを大切に、体験活動や個別最適な学び（ひとり調べ）を充実させることで、子どもたちが問題解決に向けて主体的に取り組む姿が多くなりました。

今後も、子どもたちが生活面・学習面ともに「自律」していけるように、その子らしさが輝く手立ての工夫や、一人一人に寄り添ったきめ細やかな支援指導に努めていきます。

蒲郡市では、1学級の人数は最大35人となっています。1学級の最大人数を減らすこと、補助員増加については、今後も市教委へ要望していきます。

★ 友だちづくり「尊重…多様な考え方や特性を認め、受け入れる子」

授業で友だちとかかわる場面を多く取り入れたり、ハッピータイム（全校縦割り活動）を行ったりしました。子どもたちの様子から、友だちとのかかわりがあったからこそできた学びや成長を感じる場面がたくさんありました。

来年度も「話す」「聞く」ことを重視したソーシャルスキルトレーニング、多様な人とかかわり合う場の意図的な設定などにより、コミュニケーション力の育成に努めていきます。授業においては、協働的な学び（かかわり合い）の中で、友だちと学び合う喜びを感じたり、一つのことを成し遂げる達成感を味わったりすることができるよう工夫をしていきます。

★ 地域づくり「創造…学んだことを役立て、協働的に挑戦できる子」

本校は、昨年度よりコミュニティスクールとなり、地域とともにある学校づくりに取り組んでいます。4年目となる地域学校協働活動では、授業、クラブ活動、見守り活動、環境整備などで多くの地域の方々・保護者の方々にサポートしていただきました。地域学習の中で、地域の人・もの・こととかかわり、子どもたちの探究や学びが深まったり、新たな課題解決に向けて動き出したりする姿を見ることができました。また、本年度より「ボランティア委員会」を立ち上げ、地域ボランティアの方を紹介したり、ありがとう集会を開いたりし地域の方との活動を全校に広める活動をしました。

来年度も、子どもたちの学び、成長のために、家庭・学校・地域が連携、協力していきたいと考えます。そして、子どもたちの学びの成果を発表する場や方法をさらに考えていきたいと思います。今後も蒲中学区の学校運営協議会と連携しながら少しでも前進させ、子どもの笑顔があらわれる学校となるよう努めてまいりますので、どうぞご理解とご協力のほど、よろしくお願いします。